（仮称）旧市立図書館跡地地域交流センター

基本設計

1　設計コンセプト・・・・・1
2　設計方針・・・・・・・・1
3　計画概要・・・・・・・・2
4　イメージパース・・・・・3
5　配置・平面計画・・・・・4
6　平面計画・・・・・・・・5
7　立面計画・・・・・・・・6
8　断面計画・・・・・・・・6
9　既存改修範囲・・・・・・7
10　電気設備計画・・・・・・8
11　機械設備計画・・・・・・8
12　構造計画・・・・・・・・8
13　工事概要・・・・・・・・8

－　2026年（令和８年）10月　－

明石市

1．設計コンセプト

明石公園旧市立図書館跡地利活用計画(2024年(令和６年)10月策定・2025年(令和７年)３月変更)

整備方針
・新施設は、多くの方々に愛される公園施設となるよう市において検討する
・整備に当たっては、県と連携し、必要な協力・支援を受けながら国の補助金等を活用して財政負担の抑制を図る

― コンセプト ―

いつでもみんなをやさしく包む居場所

・自然の中で心地よく過ごせる居場所としての機能　・みんなが自由に集まり交流できる機能　・明石公園でのさまざまな活動を支援する多目的な機能

2．設計方針

1．誰でも気軽に訪れやすい、みんなを迎え入れる施設

・誰もがそれぞれの居場所を見つけられる、多様な機能
・屋外空間とつながりのあるフラットな施設
・災害時の避難所機能や備蓄倉庫を備えた地域防災の拠点（防災教育への活用）
・世代や障害の有無を問わず、みんなが使いやすく、分かりやすい施設

2．明石公園の自然に包まれた空間で、多様な人々が集い、活動・交流を育む『森のコモンズ』

・明石公園のランドスケープをそのまま活かした交流空間
・様々な活動・交流の在り方を包み込む柔らかな空間
・多様な使い方ができるエディタブル（編集可能）建築
・園路と建物の高低差に対応した、ゆるやかなスロープの配置
・隣接する県立図書館を活かした複合施設

3．明石公園の自然を最大限に活用し、光と風と緑を活かす省エネ建築

・森のアプローチから続く光と風の通り抜けの継承
・施設特性を踏まえた環境に配慮した設備の導入
・ローメンテナンスな長寿命建築

4．敷地の特殊条件をプラスに活かし、工事費を抑制（工期を短縮）

・旧市立図書館の地下室を活用することにより、解体範囲を縮小
・軽量で短期間に建てられる構造
・液状化対策など防災に配慮し、施設を合理化
・旧市立図書館の一部を活かした交流棟の整備
・メリハリと合理性のあるコスト配分
・県立図書館の利用を妨げず、施工しやすい配置

3. 計画概要

【付近見取図】



【敷地概要】

建設地	：	明石市明石公園１－27
敷地面積	：	約6,000㎡(今後県との協議により決定)
区域区分	：	市街化区域
用途地域	：	第一種中高層住居専用地域
許容建蔽率	：	60％
許容容積率	：	200％
高度地区	：	第３種高度地区
都市施設	：	公園(明石公園)
その他	：	宅地造成等工事規制区域 建築基準法第22条区域 都市機能誘導区域(明石東部地域(JR山陽明石駅周辺地域)) 広域公園
道路幅員	：	7.0m(市道太寺上ノ丸線11号線(1号道路))

【施設概要】

施設概要	：	地域交流センター
工事種別	：	ホール棟：新築 交流棟　：改修（減築）
構造	：	ホール棟：鉄骨造 交流棟　：鉄筋コンクリート造（既存改修）
建築面積	：	1,540㎡
延床面積	：	1,880㎡
階数	：	地上１階・地下１階
最高高さ	：	9.5m

【導入機能】

施設部分	：	多目的ホール(器具庫)、活動室、フリースペース、ギャラリー コワーキングスペース、学習スペース、トイレ、多目的トイレ 更衣室、ベビーケアルーム、事務室(倉庫)、防災備蓄倉庫、 大屋根広場、避難所(災害時)
外構部分	：	バスケットボールコート(半面)、園路、広場、ベンチ、駐輪場など

4. イメージパース

・明石公園の魅力的なランドスケープや敷地内の高低差を活かし、自然と融け合う配置計画とします。
・既存の県立図書館と旧市立図書館との位置関係を引き継いだ計画とします。
・外観や外構に用いる材料は、隣接する県立図書館や周辺の自然環境と調和する材質を使用します。



5. 配置・平面計画

外観計画

・明石公園の魅力的な景観や敷地内の高低差に配慮し、自然と融け合う計画
・旧市立図書館の一部躯体を活用することで元あった県立図書館や明石公園と位置関係を引き継いだ配置計画

ゾーニング

・旧施設の躯体を活用するため、交流棟を北東側に配置(旧施設の地下室を防災備蓄倉庫として活用)
・交流棟のDS(ダクトスペース)は、利用方法を見直し、新たなスペースとして活用することを検討
・西側園路から見た建物と広場の眺めや大屋根広場を広く確保するため、多目的ホールを敷地南東側に東西に配置
・多目的ホールの南側に緑地を配置し、森の見えるホールを整備
・駐輪場を南西側に配置

動線計画

・西側園路から各施設へと繋がるゆるやかなスロープを配置
・南東側園路からのアクセス向上のため、南側に出入口を配置
・交流棟と多目的ホールは渡り廊下で接続
・機材運搬などの負担を軽減するため、多目的ホールへの搬入動線を東側に配置



配置図　A3：1/400

※各諸室の面積は今後変更の可能性があります。

6. 平面計画

[交流棟(既存改修)]

・内外が分け隔てなく繋がるとともに、誰もが自分の居場所を見つけることができる空間とします。
・活動目的に合わせて利用者の手で気軽にアレンジできるエディタブル(編集可能)な施設とします。
・様々な活動を支援するため、無料Wi-Fiを整備します。

機能	主な仕様
活動室	4室(60㎡(定員18人)・30㎡(定員8人)・22.5㎡(定員6人)・22.5㎡(定員6人)) ・一部防音機能・鏡張りの部屋を整備・可動間仕切りにより一体利用可
フリースペース ギャラリー	可動パネル、可動家具、有孔板の壁などの導入 活動目的に合わせて容易にアレンジ可能な空間 自動販売機・軽食コーナー設置 明石公園の自然を学ぶことができる空間
コワーキングスペース 学習スペース	集中しやすいレイアウトや家具什器の導入
トイレ 多目的トイレ 更衣室 ベビーケアルーム	防犯面、緊急対応などを考慮し、事務室付近に配置 女性用トイレ：個室6室(幼児兼用1室)・パウダーコーナー 男性用トイレ：個室2室(幼児兼用1室)・小4基(幼児兼用1基) ベビーケアルーム：おむつ替えコーナー・授乳室2室(調乳用温水器)
事務室・倉庫	倉庫：会議室の机や椅子、フリースペース用の備品などを収納
防災備蓄倉庫	飲料・食料・毛布などを保管(積層ラックを活用)　運搬用エレベーターの設置

[多目的ホール棟(新築)]

・演奏会・コーラスなどの音楽活動、ワークショップ・講演会などの文化活動をメインにしつつ、ダンス・体操などの軽運動、予約がない時間帯はフリースペースとして利用します。
・吹奏楽などの音楽利用を想定した音響・遮音性能を考慮した内装とします。
・災害時には周辺住民が避難する指定避難所として活用します(ペットの同室避難も検討)。また、災害従事者の活動拠点についても検討します。
・大屋根広場と隣接し、建具を開放し一体的な利用を可能とします。
・自然光を取り入れ、緑に包まれた利用環境とするためにガラスの開口部を設けます。

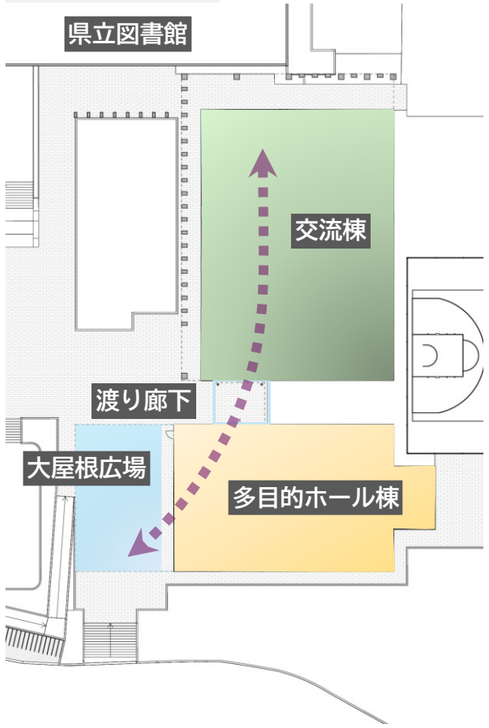
機能	主な仕様
多目的ホール	演奏会100席・談話利用150席　一部ガラス張り(H2,000mm程度)
器具庫	グランドピアノ・音響設備・机・椅子など収納

[大屋根広場・屋外空間]

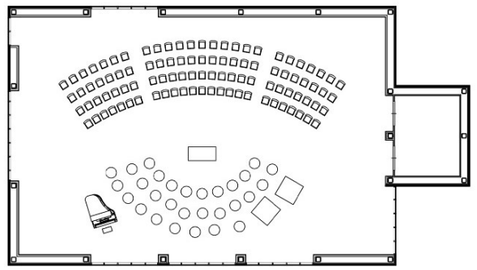
※今後変更の可能性があります。

・大屋根広場は、天候に左右されることなく、野外での様々な活動を支援する空間とします。
・交流棟と多目的ホールを渡り廊下で繋ぎ、フリースペースと多目的ホールの一体利用を可能とします。
・敷地東側に、バスケットボールコート(半面)を整備し、床材には静粛性のある素材を使用します。
・敷地の入口を4か所配置し、どこからでも出入りしやすくします。
・高低差のある敷地内をゆったりと安全に移動しやくするため、緩やかなスロープを整備します。
・自然の中で、ゆったり滞在できるようベンチの整備と木陰のできる樹木を配置します。

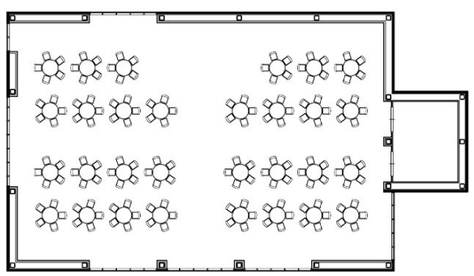
施設の位置関係



多目的ホール利用例

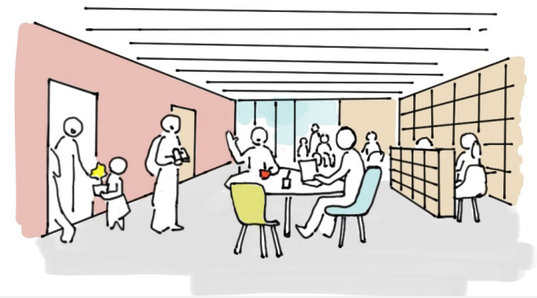


演奏会（100席）

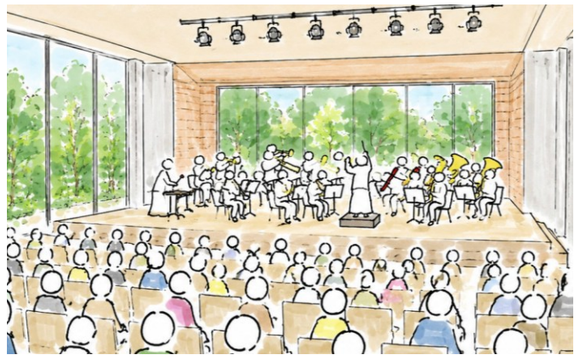


フリースペース利用（5人×30卓）

学校帰りに気軽に立ち寄れる
学習・コワーキングスペース



森を見ながら音楽と触れ合える多目的ホール



明石公園の様々な活動を支援する大屋根広場



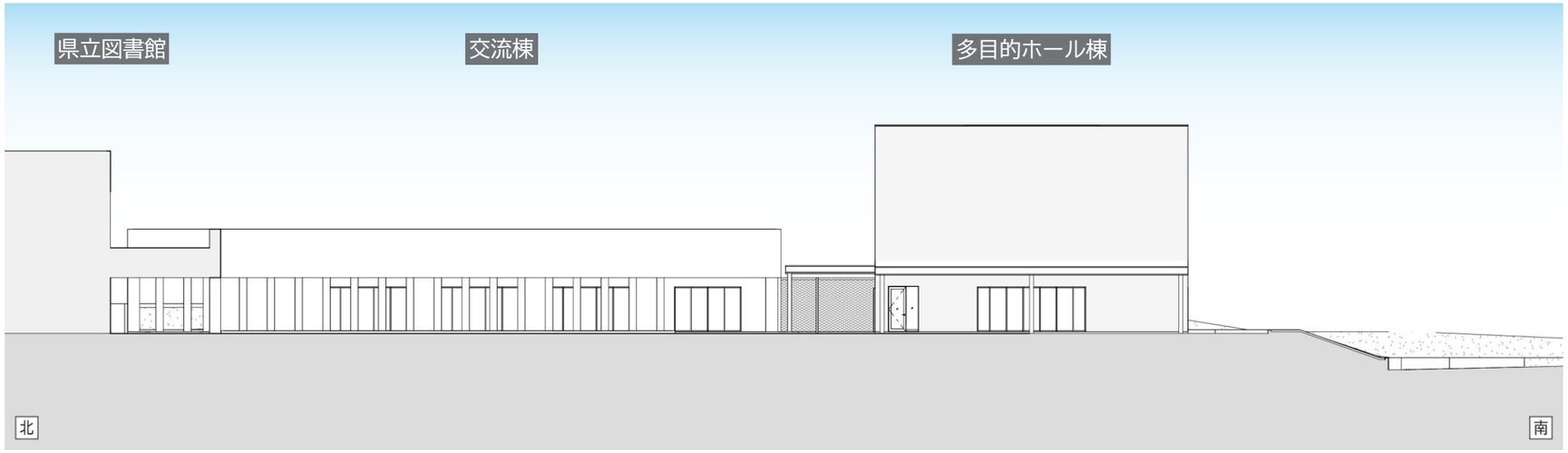
自然を生かした心地よい滞在スペース



7. 立面計画

・旧市立図書館の躯体を活用することで、県立図書館や明石公園の地形に馴染むデザインを継承します。

・旧市立図書館の上層階を減築し、低層階の躯体を活用することで広く開放的な外観を構成します。



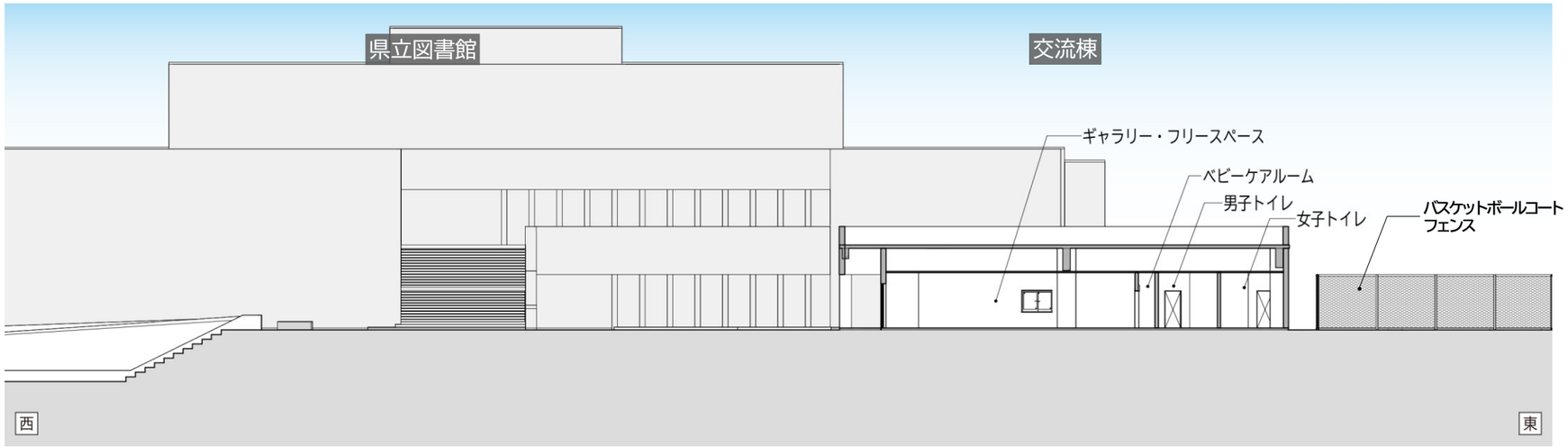
西立面図　A3：1/300

8. 断面計画

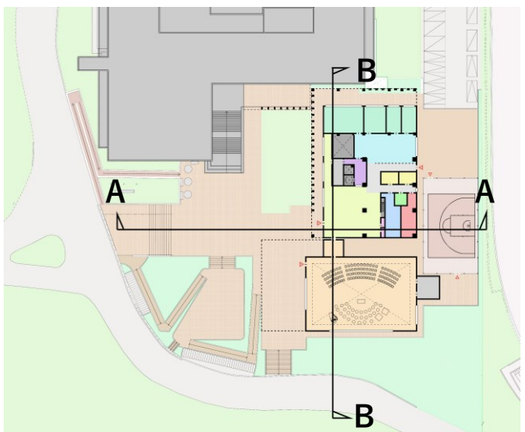
・改修（減築）する交流棟は、旧市立図書館の地下１階、地上１階の一部躯体を存置し、交流センターとして活用します。

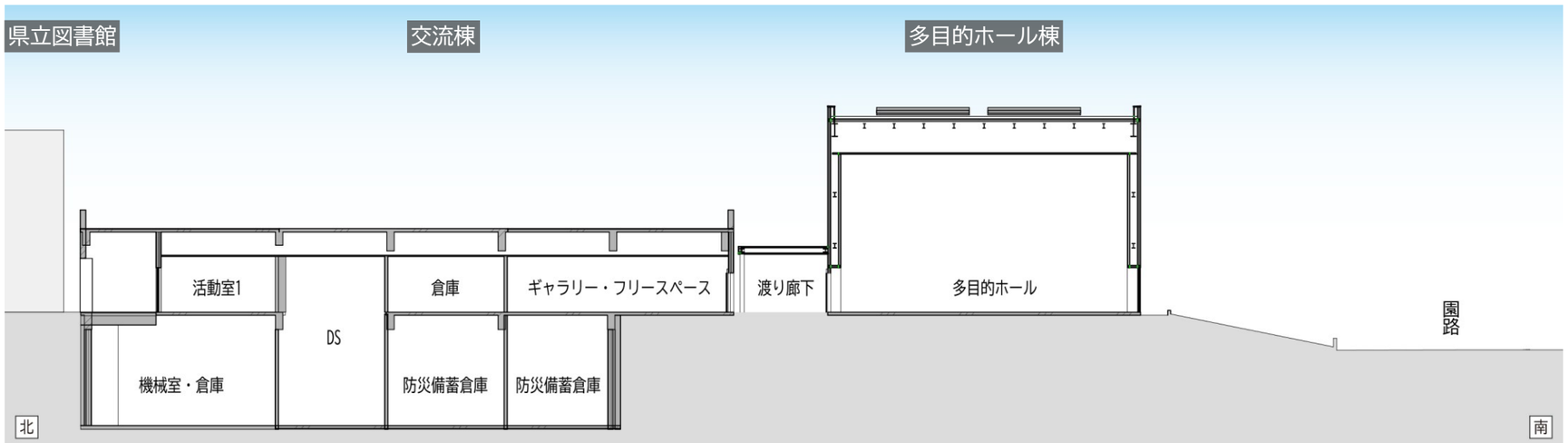
・交流棟の地下階には防災備蓄倉庫を配置し、非常時の支援を行える機能を常備します。

・多目的ホールは音楽など文化活動に適した高さを確保します。



A-A断面図　A3：1/300





B-B断面図　A3：1/300

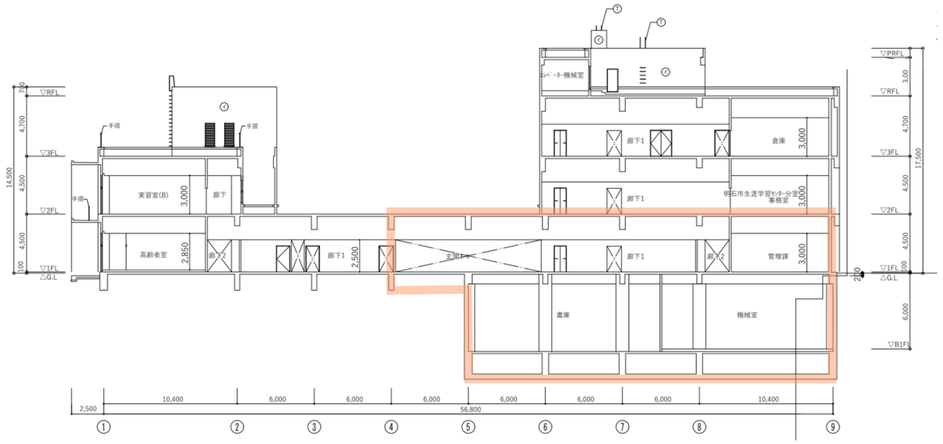
9. 既存改修範囲

既存改修範囲

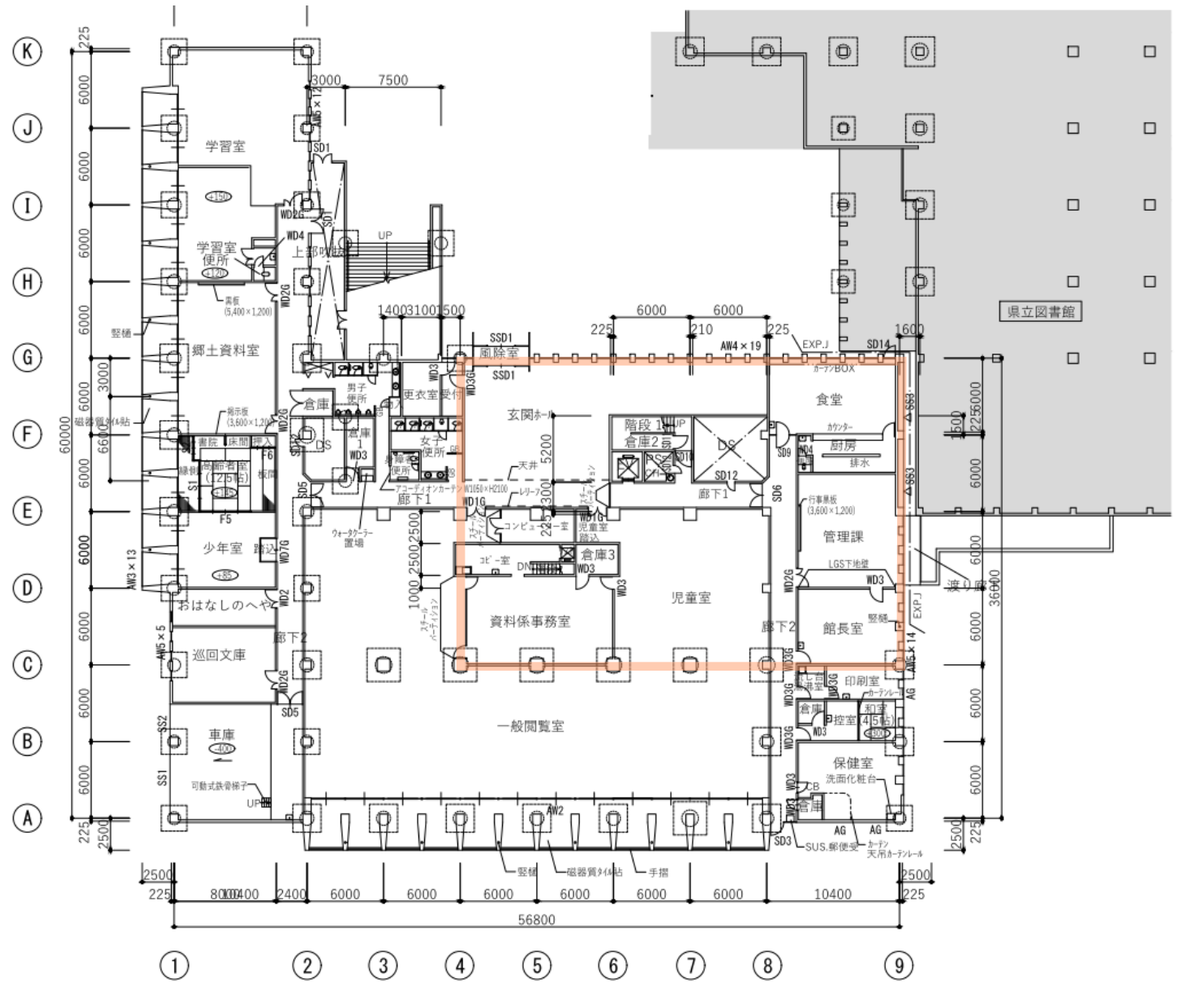
・既存改修範囲以外は解体します。

・耐震診断を行った後、耐震補強等を実施し、建物の安全性を確保します。

・残置する壁の位置は、耐震性の観点から実施設計を進める中で決定します。



断面図(旧市立図書館)



1階平面図(旧市立図書館)

10. 電気設備計画

【基本方針】

・ZEB Ready達成に向けた高効率機器(高効率変圧器、LED照明)を採用します。

・省エネルギーに配慮した照明制御方式(人感センサーによる点滅、タイマー制御、点灯区分)の細分化を行います。

・自然採光や太陽光発電システムを導入し、電力エネルギーを削減します。

・外構の照明は、アプローチの安全性確保とともに、公園内の緑地としての演出も考慮します。

【概要】

受電方式	高圧1回線受電
受変電設備	変圧器
発電設備	非常用発電機 太陽光発電パネル
電灯設備	照明設備、コンセント設備、 誘導灯・非常用照明設備
通信設備	誘導支援設備映像・音響設備、 テレビ共同受信設備
防犯設備	入退室管理設備、監視カメラ設備
防災設備	自動火災報知設備、非常・業務放送設備

※今後変更の可能性があります。

11. 機械設備計画

【基本方針】

・運転管理しやすいシステム、汎用品の採用、耐久性の高い機器や材料の採用により長寿命化とライフサイクルコストの低減を図ります。

(給排水衛生)

・耐久性、保守性、節水、バリアフリー等に配慮した衛生器具とします。

(空気調和)

・操作性、保守性を考慮し、高効率な機器を採用します。

・空調対象室の換気は原則、全熱交換型換気扇とし、空調負荷の低減を図ります。

・空間に合わせた快適性・省エネルギー性に最適な空調計画とします。

・既存施設の地下室の機械室をそのまま利用し、主要な設備機器は更新しやすさを考慮した配置とします。

【概要】

空調設備	パッケージエアコン+全熱交換ユニット
換気設備	第1種換気、第3種換気
排煙設備	自然排煙・告示適用、機械排煙なし
衛生器具設備	節水型器具
給水設備	直結直圧方式
排水設備	屋内・屋外共、汚水・雑排水合流、雨水分流方式
消火設備	消火器、屋内消火栓
ガス設備	都市ガス13A　給湯・キッチン用

※今後変更の可能性があります。

12. 構造計画

【基本方針】

多目的ホール(新築)

・耐震性能は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」等に基づき、II類とし、1.25の重要度係数を設定します。

・構造種別は鉄骨造で、空間のフレキシビリティに配慮します。

・基礎は杭基礎とし、堅固な支持層に達せさせることで建物荷重を支持します。

交流棟(既存改修)

・耐震診断を行い、必要に応じた適切な耐震補強を行います。

【概要】

耐震性能の分類	II類(構造体) B類(非構造部材) 乙類(建築設備)
構造種別	新築：鉄骨造 既存改修：鉄筋コンクリート造
構造形式※	ブレース付きラーメン構造
基礎形式※	杭構造

※今後変更の可能性があります。

13. 工事概要

建設工事費(概算)：約15.6億円(税込)(解体・新築・外構工事)
工事期間：解体工事14か月　新築・外構工事12か月
※家具什器等にかかる費用などは別途
※今後の物価上昇等により変更の可能性があります。

